

## 生活のきまりについて

生活指導主任 隈元 一貴

コロナウイルスの対応で不安な中ですが、心も体も健康であるための対応を引き続き、お願いします。

### 1. 生活習慣、生活規律を整える

- ・睡眠や食事をきちんととること。
- ・学習・運動を計画的に行うこと。
- ・家の人にきちんと挨拶をしたり、手伝いをしたりして、家族の一員として行動すること。
- ・時間を決めて遊ぶなど、メリハリのある生活を送ること。

### 2. 不要不急の外出を控える

- ・外出するときにはソーシャルディスタンスに気を付けること。
- ・必ずうがい手洗いをする。

生活規律を示した「二延スタンダード」は、ご家庭での指導にも役立つはずですが、気持ちの良い生活と環境、集団（学校でも家庭でも）での秩序を保っていくための規律を見直す機会としていただきたいと思います。



## 小中一貫教育 保幼小連携について

教育課題 新井 亮寛

本校では、小中一貫教育の推進と保幼小の連携を大切にしています。

小中一貫教育を推進するために、荏原第六中学校との連携を図っています。主な活動内容は、5年生の中学校体験学習と小中合同地域清掃です。5年生は、連携校である荏原第六中学校に行き、中学校の先生の授業を受ける体験学習をします。また、小中合同地域清掃は、5年生と6年生それぞれが荏原第六中学校の7年生とともに、地域のゴミ拾いをします。先輩である中学生に教えてもらいながら、市民科の中でボランティアマインドを育む学習として位置付けられています。

保幼小交流活動は、小学校生活に不安を感じる保育園・幼稚園の園児が、学校生活に戸惑いを感じたり、給食に抵抗を感じたりすることがないように、園児一人一人の滑らかな就学につなげることを目的にしています。帝京にしき幼稚園と清水台保育園の年長園児が来校し、学校の様子を参観します。また、5年生と一緒に給食を食べたり、1年生と交流をもったりします。この保幼小交流活動は、本校の児童にとっても、年上としての自覚や思いやりをもって、望ましい行動ができるようになることをねらった活動です。

今年度も引き続き、連携中学校や連携園と協力しながら、子供たちにとって学ぶべきことが多い連携活動となるよう取り組んでいきます。

## 入学式を終えて

1年団 深町 耕一郎

4月6日、120名の元気な1年生が入学しました。当日は少し肌寒くも感じましたが、よく晴れた絶好の入学式日和となりました。今年はコロナウイルスの心配もあり、例年とは違った雰囲気の中での入学式でした。ですが、参列した子供たちはみな、これから始まる小学校生活への期待に満ち、ワクワクとドキドキの表情で並んでいました。話を聞く態度もとても立派で、これからの学校生活がとても楽しみになりました。

その後、長い休校となってしまう、実際に子供たちと話した時間は長くはなく、まだまだこれからといったところですが、「学校が始まったらどんなことを話そうか」「子供たちはどんなことに興味をもってくれるかな」と、私たち担任一同も学校再開を楽しみに待っています。

学校再開後は、笑顔いっぱいの1年生120人が明るく楽しく、そして子供たちにとって学ぶことの多い学校生活となるよう取り組んでいきます。その時まで、おうちでも元気に、健康に過ごしてほしいです。

